

環境配慮設備などへの助成制度

問環境みどり課 (2335) 4912

環境に配慮した設備などに対する各種助成制度の受け付け（予算額になり次第終了）を開始します。助成を受けるためには事前申請が必要です。申請書類は環境みどり課で配布するほか、市ホームページからダウンロードできます。詳細は、同課へお問い合わせください。

猫の不妊・去勢手術費用を助成

野良猫の増加を防ぐため、猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成します。

対象者	①市内に住民登録している世帯主 ②市税を滞納していない方 ③野良猫の場合は、手術後に飼うことができる方
対象猫	①飼い猫・野良猫 ②生後6カ月以上 ③飼い猫・野良猫に限らず、年間に1世帯2匹まで
助成額	①不妊手術（雌）…4,000円／匹 ②去勢手術（雄）…3,000円／匹
手術実施者	県内で診療施設を開設している獣医師

生け垣設置費用を助成

緑豊かなまちづくりを進めるため、生け垣の設置時に奨励金を交付しています。

▼奨励金額	1mにつき7,000円（上限14万円／年度）
▼条件	住宅用地にあり、公道など（幅員4メートル以上）に3メートル以上接していること、樹木の高さが90センチ以上で一列につき2本以上植栽していることなど

▲生け垣の緑には癒やしの効果も

低公害車や太陽光発電施設などの導入補助金

環境にやさしい社会の実現に向けて、低公害車や太陽光発電施設などの導入・設置に対する補助金を交付します。補助金の交付には各種要件があり、申請は購入・工事着手の2週間前までに環境みどり課で行ってください。



▼受付期間 平成28年2月12日（金）まで

対象	概要	補助額
急速充電可能ハイブリッド自動車	プラグインハイブリッド自動車などで、急速充電器を利用できる車	1台／5万円
燃料電池自動車	水素と酸素の化学反応による発電で走行し、水素ステーションで燃料を補給する車	1台／40万円
電気自動車	車検を取得した新車（ミニカーなどは除く）	1台／15万円
太陽光発電施設	住宅や事業所の屋根などに設置した太陽電池を利用し、太陽光エネルギーを電力に変換できるもの	1kW／2万円（上限20万円）
定置用リチウムイオン蓄電池	太陽光で発電した電力などを蓄電し、雨天や停電時のバッカアップ電源として利用できるもの	1施設／5万円
エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）	都市ガス・LPガス・灯油などから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させて電気と熱を発生させ、電気は家庭内へ供給し、熱は給湯に利用できるもの	1施設／6万円

木造住宅の耐震化・防災ベッドなどの設置を補助

家屋の倒壊から身を守る



▼補助対象 昭和56年5月以前に建築確認を受けて建築工事に着工した木造住宅で、2階建て以下の住宅（同年6月以降に全体の2分の1未満を増改築した場合も可）

家の倒壊から人命を守るために、防災ベッドと耐震シェルターの設置費用について補助を行っています。住宅の耐震補強に比べ、安価に設置できます。

防災ベッド・耐震シェルターの設置補助

木造住宅の耐震診断・改修補助

震災時などに家屋の倒壊から身を守るため、市では木造住宅の耐震診断や改修費の補助、防災ベッドなどの設置補助を行っています。

専門家による無料の個別相談を行っています。平成27年度の無料相談会は、5月・8月・10月に実施予定です。詳細は、都市計画課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

耐震診断相談会

自宅の耐震診断や耐震工事費用の一部を補助しています。補助を受けた場合には、耐震相談会への参加など条件があります。詳細は、都市計画課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。



▲鉄骨製の半円状のフレームが就寝中の家屋倒壊から身を守ります

鉄骨やパネルで部屋を補強し、安全な空間を確保します



補助内容

対象	補助金額
現地簡易診断	診断費の3分の2（上限2万円）
一般診断	診断費の2分の1（上限5万円）
耐震改修計画書作成	作成費の2分の1（上限5万円）
耐震改修工事	工事費の2分の1（上限90万円） + 現場立ち合い費の2分の1（上限3万円）

問都市計画課 (2335) 93392